

目

次

はしがき

I

泉のこだま
生きようとする意志
青空の下で
詩を思う

詩心の静かな力
II

ラビンドラナート・タゴール

一五三

ベルナデットの祈り

一九七

ゴッホの明るさ

一〇一

III

永遠に母なるもの

一一一

蓼科高原

一八

高原の歌

一三九

星の花の種

一四九

足摺岬行

一五三

峠

一五七

感動の五重奏

一六九

初秋の嵐の後に……………二五三

原形への愛……………二五七

早春の便り……………二六一

IV

ロマン・ロランとヘルマン・ヘッセ……………二六九

中心を通じて……………二七〇

既刊著作目録

著者について……………二七一

原色版「花」「夜の船」(著者)

カット (〃)